

生衛業経営支援緊急対策事業
相談・指導事例 22

都道府県 北海道
専門指導員 中小企業診断士

相談者の業種	飲食業(喫茶飲食)
相談・指導実施日時	令和2年 7月 1日
相談・指導の項目(該当するものに○を記入) ()雇用調整助成金に関するもの (○)持続化給付金に関するもの ()生活衛生貸付等融資に関するもの (○)その他の支援施策の利用に関するもの ()経営に関するもの ()その他()	
【具体的な相談内容】(現在の相談者の状況、どのような点についての支援希望なのかを記入) 札幌市内のデパート内の従業員等向けの喫茶店を営んでいる。 デパートの休業により休業を余儀なくされ、売上が激減し、札幌市の「休業協力・感染リスク低減支援金」を申し込んだが不採択となった。	
【相談・指導等の支援活動内容】(どのような助言・支援を行ったのかを具体的に記入) ① デパート内の従業員向けの飲食店のため、営業許可名義がデパートとなっており、決算書の名義が相談者の法人名義となっているケースであり、不採択理由はこの名義相違であると考えられた。 ② 札幌市に確認し、消費税 10%の明記されたレシートを添付すれば良いとの回答を得たが、相談者に確認したところ、店名が印字されないレジであった。 領収書と一緒に添付することで代用できる可能性はある。(不採択の可能性も高い) ③ 更にヒアリングしたところ、以前は相談者の法人名義で営業許可を取っていたが、その後デパートが倒産し、別のデパートによる再建の際に営業許可名義が変更されたとのこと。 改めてデパート側と営業許可名義の変更を交渉し、営業許可名義を変更のうえ再申請を行った。 ④ 持続化給付金についても申請中で同様の状態であるとのことなので、営業許可名義変更後再申請を行った。	
【相談・指導等の支援活動の成果・効果】(支援活動によりどのような改善が図られたかを記入) 再申請の結果、持続化給付金・札幌市協力金が交付された。	